



学校教育目標：生徒一人一人の能力・特性に応じ、自立社会参加を目指して、生きる力をはぐくみ、社会の変化に主体的に対応できる人間を育てる。

自ら考え学ぶ人

心ゆたかな人

じょうぶな人

生徒の教育的ニーズに応じた指導の充実

自立と社会参加に向けた職業教育の実践

健康で安全な生活の推進

【生徒の主体的な学びの促進】

- 生徒同士が学び合い、探求心を引き出す授業を行い、個別最適化された学びの実現を目指すとともに、生徒自身が自分の考えを深め、表現する力を高めながら対話と協働を意識した授業を行います。
- 個に応じた指導の充実と関連機関との連携を図ります。

【ICTの活用の促進】

- ICTを活用し、情報活用能力を育て、生徒の興味・関心をもって授業に取り組めるよう指導を充実させます。
- 社会参加に向けた情報モラル・デジタルシティズンシップの知識を深め、実践できるように支援します。
- 必要に応じてオンライン授業を行います。

【交流及び共同学習の充実】

- 勿来高等学校や地域の方との交流及び共同学習の機会を通して、お互いの理解や認め合う心を育てます。
- 個々の興味関心、特性を踏まえ、様々な人とかわり、コミュニケーションを増やし、人間性の育成を図ります。

共生社会の形成に向けた地域と連携した取組

- 関係機関との連携を深め、地域支援・校内支援の充実を図ります。(地域支援センター)

【社会参加についての継続的な支援】

- くぼた校の伝統の継承し、自分から進んであいさつができる生徒を育てます。
- 自らの障がいや特性を理解し、自分らしい生き方について学び、考える授業を行います。
- 自己の課題に気づいて改善策を考え、よりよく生きようとする意欲を育てます。

【多様性を認め合う教育の実践】

- 多様な考え方や見方に触れ、自分のよさ、相手の良さを認めることができるよう道徳教育の充実を図ります。

【SDGsの視点を大事にした実践】

- SDGSについて、各教科の特性を生かし、教科横断的な学習活動に取り組みます。
- SDGsの視点をもった地域での活動に参加します。

【地域資源の活用、地域貢献の促進】

- 体験的な学習を通して、積極的に地域や社会に関わろうとする意欲や態度を育てます。また、ボランティア活動に参加し、地域の中で役割を果たしていきます。

【心身の健康管理の向上】

- 規則正しい生活習慣の指導を行います。
- 自分手帳を活用した健康作りや、生徒自身が心身の健康管理ができるように、教員が連携して支援します。

【一人一人を大切に作る学校づくり】

- いじめの未然防止、SNSトラブル防止、性に関する指導の充実により早期発見や未然防止に努めます。
- 生徒が自分の悩みを話せる環境を作り、心の悩み相談の充実を図り、安心できる学校作りに取り組みます。

【安全教育、防災教育の継続】

- 確実な安全点検、危機管理マニュアルの確認、各種訓練等による安全指導の充実に取り組みます。
- 東日本大震災を踏まえた防災教育を実施します。
- 放射線についての正しい理解と具体的なイメージをもてるように指導方法を工夫します。
- 様々な災害等についての知識と防災意識を高めるために、体験的な学習活動に取り組みます。

- 【地域への情報発信】 ホームページを積極的に活用し、地域に開かれた学校づくりを継続します。

つなが・つながる・ひろがる！！

